

2018年11月13日

各位

会社名 株式会社 ブイキューブ  
 代表者名 代表取締役社長 間下 直晃  
 (コード番号: 3681 東証第一部)  
 問合せ先 取締役 C F O 大川 成儀  
 (TEL. 03-5768-3111)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年2月14日に公表した2018年12月期（2018年1月1日～2018年12月31日）の連結業績予想を修正しましたので、下記の通り、お知らせいたします。

記

1. 2018年12月期通期連結業績予想数値の修正  
 (2018年1月1日～2018年12月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	7,101	387	347	158	6円58銭
今回修正予想(B)	7,895	330	250	480	19円91銭
増減額(B-A)	793	△57	△97	321	
増減率(%)	11.2	△14.9	△28.1	203.0	
(ご参考)前年実績 (2017年12月期)	6,638	△550	△567	△3,035	△152円95銭

(注) 前回発表予想の1株当たり当期純利益は、2018年2月14日現在の発行済株式総数(24,062,200株)を基に、今回修正予想は、2018年11月13日現在の発行済株式総数(24,104,200株)を基に算出しております。

2. 修正の理由

- ・ 売上高は、主力の国内クラウドサービスが期初想定を下回る見込みですが、電子黒板サービス事業における大型案件の獲得等による約10億円の増加や、2018年6月に米国Vidyo(ヴィディオ)社の日本国内総代理店になったことが貢献し、前回発表予想を上回る見込みとなりました。
- ・ 営業利益は、シンガポールの子会社Wizlearn Technologies Pte. Ltd.において現地会計基準の変更の影響や同社買収に係るのれん償却費の修正等の要因で合計72百万円の営業利益減少となり、前回発表予想を57百万円下回る見込みとなりました。
- ・ 経常利益は、営業利益の下振れとグループ内貸付を主とした外貨建て債権の換算による為替差損の影響を受けたことにより、前回発表予想を下回る見込みとなりました。
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、外部委託システム障害対応費用等の特別損失(27百万円)があったものの、第3四半期において投資有価証券売却益(51百万円)の計上及び第4四半期に電子黒板サービス事業の事業売却益(410百万円)が見込まれるため、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

以上